

## 2022年度事業報告

### 1. 基本方針

日本包装学会の目的は、「包装にかかわる各種材料、加工、機械、システム、製品、検査、流通、デザイン、心理、環境、社会等の科学及び技術の進展をはかり、もって学術文化の向上と産業の発展に寄与すること」であると会則に規定されており、その目的を達成するために、①研究発表会、研究会、講演会、講習会及び見学会等の開催、②会誌その他本会の目的に関係する資料の発行、③関連機関・団体との連絡及び協力、④その他本会の目的達成に必要な事業を行っています。

2022年度は、これまでの活動実績を踏まえ、「産官学共同プロジェクトによる研究推進」、「女性や学生を含む若手が主役となる学会運営」、「ボードレスへの対応」、「会員数増強への取り組み」の方針を立てました。「With-Coronaにおける学会活動」の中、年次大会やシンポジウム・研究会はリモート中心の形式となっても発表がオンデマンドにより視聴できるなどのメリットがあり、各種委員会活動でも効率的な運営がなされてきました。さらに、学会誌掲載済みのコンテンツを電子媒体として積極的に公開していくことにより、学会の存在を広くアピールするための準備を進めました。

### 2. 学会運営の経過

#### 2-1. 通常総会

2022年8月30日、次の要領で開催した。

- メーリングリストに基づく招集
- 学会ホームページ掲載の議案書ダウンロード
- パスワード付き回答フォームを用いたweb議決
- 議決件数 371（回答94、委任277）、会員数：396

#### 2-2. 理事会

2022年度は1回の開催となった。

- 第93回：2022年7月 web開催

#### 2-3. 会長補佐会議

2022年度は2回の開催となった。

- 第103回：2022年5月 web開催
- 第104回：2022年12月 web開催

### 3. 各委員会の活動

#### 3-1. 編集委員会

##### (1) 論文等の査読と学会誌掲載

以下の論文等、7報の査読、審査を行い、学会誌に掲載した。

##### ①一般論文

- パレット積付け段ボール箱の圧縮強度解析
- 電気インピーダンス測定によるレトルトパウチ内の食肉の熱変性過程の捕捉
- Measurement and Analysis of Vibrations on the Trailer Bed, with Particular Attention to Velocity Kurtosis and Kurtosis Response Spectrum
- 緩衝材を介した衝撃波形と衝撃試験の衝撃波形における製品内部への加速度応答の比較

- 荷台振動の簡易加速度 PSD 推定手法の精度検証

## ②技術報告

- 屏風の振動応答特性を検証するための基礎的研究

## ③ノート

- 収穫時期の違いがブロッコリーの重量減少および黄化発生に及ぼす影響

### (2) 特集の編集と学会誌発行

デジタル化、環境対応、バイオマス活用などのトレンドを受け、以下の特集を編集し、学会誌 Vol.31 No.2~Vol.32 No.1 を発行した。

- Vol.31 No.2 DX, IoT, ICT の進展と医薬品包装
- Vol.31 No.3 天然素材からなるフィルムや容器の開発と今後
- Vol.31 No.4 物流品質管理による包装事故削減
- Vol.31 No.5 プラスチックのリサイクルの現状と容器包装リサイクルへの展開
- Vol.31 No.6 包装・物流分野における AI・ビッグデータ活用の取り組み
- Vol.32 No.1 プラスチック製容器包装をとりまく LCA

### (3) 編集委員会開催

編集委員会を 6 回開催した。9 月からはコロナ感染者数の状況を見ながら対面形式を再開した。

- 2022 年 5 月 8 日 : 第 189 回 オンライン会議
- 2022 年 7 月 5 日 : 第 190 回 オンライン会議
- 2022 年 9 月 6 日 : 第 191 回 対面・オンライン会議
- 2022 年 11 月 8 日 : 第 192 回 対面・オンライン会議
- 2023 年 1 月 10 日 : 第 193 回 対面・オンライン会議
- 2023 年 3 月 6 日 : 第 194 回 オンライン会議

### (4) 論文等のオープンアクセス推進

科学技術振興機構 (JST)、「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE) への一般論文、技術報告、ノートの登載を企画、提案し、会長補佐会議、理事会の承認を得た。

## 3-3. 研究委員会

### (1) バリア材料研究会

第 25 回バリア材料研究会を開催完了

テーマ：循環型社会に向けた包装技術開発) 開催日：10/26 参加者：約 80 名

### (2) 輸送包装研究会

輸送包装ディスカッション 2022 を開催完了。

テーマ：物流品質向上による包装削減 開催日：9/16 参加者：21 名

### (3) 包装と IoT 研究会

オンラインセミナーを開催完了

テーマ：パッケージ IoT 化によるサプライチェーン変革 開催日：7/28 参加者：41 名

### (4) 若手の会

学会の Web サイト等で「包装関連研究 論文執筆のための用語集」の案内を配信

## 3-4. 大会運営委員会

COVID-19感染症が蔓延し、一定の制約も余儀なくされていたため、第31回年次大会はもとより、運営委員会も含め、オンライン・web開催中心となったが、第31回年次大会開催に際しては、前第30回開催時の経験から、新たに相互コミュニケーションツールを導入するなど、各種施策を取り入れ、ブラッシュアップを図った。

また第32回に向けての運営委員会開催にあたっては、会議室開催とのハイブリットとし、闊達な討議を行っている。

- 第243回 2022年5月10日 web会議審議
- 第244回 2022年6月14日 web会議審議
- 第31回年次大会 2022年7月21・22日 オンライン開催  
参加登録者数：146名  
発表数；31件（口頭24件、ポスター7件）
- 第245回 2022年9月13日 web会議審議  
（以降 第32回年次大会準備）
- 第246回 2022年12月22日 会議室+webハイブリット会議審議
- 第247回 2023年1月16日 会議室+webハイブリット会議審議
- 第248回 2023年2月7日 会議室+webハイブリット会議審議
- 第249回 2023年3月7日 会議室+webハイブリット会議審議

### 3-5. 広報委員会

#### (1) Web関連

学会主催催事（シンポジウム・年次大会・研究会）の開催案内と参加受付をwebページにて行い、会員に告知メールを発信した。以下の事項についてwebページの公開、もしくは内容の改訂を実施した。

- 随時：協賛、後援している催事
- 学会誌の発行時：最新号の目次
- 年次大会終了時：維持会員リスト、過去の受賞者リスト、事業報告、事業計画
- 年末：学会表彰授賞者募集案内
- 年度の切り替わり時期：学会誌掲載後1年以上経過した論文

#### (2) 東京パック出展

東京ビックサイトにてTOKYO PACK 2022が2022年10月12日～14日に開催され、1小間にて出展した。ブースでは包装科学基礎講座（既刊分）や「論文執筆のための用語集」（本年度発行）、学会誌バックナンバー、シンポジウム要旨集等を販売し、あわせて学会紹介パンフレット等の配布を行った。

書籍の販売：基礎講座①～⑬	37冊
論文執筆のための用語集	4冊
学会誌	1冊

### 3-6. 国際交流委員会

2023年にIPSを開催できるかどうか議論を進めた。2023年においては海外から講師を招聘し開催することは困難であり、開催を見送ることとした。

オンラインでの開催可能性についても検討したが、対面での開催による交流の効果は大きいと考えている。

### 3-7. 学会賞等選考委員会

COVID-19感染症防止のため、2023年3月30日にオンラインで選考委員会を開催、慎重に審議を行った結果、次の通り決定した。

#### (1) 日本包装学会賞（推薦1件）

- 和田 浩（わだ ひろし） 東京国立博物館
- 業績名称：文化財保護のための安全輸送・梱包設計に関する研究

#### (2) 日本包装学会奨励賞（推薦1件）

- 堀口 翔伍（ほりぐち しょうご） （地独）大阪産業技術研究所
- 業績名称：緩衝包装設計適正化のための製品衝撃強さ試験に関する研究

#### (3) 日本包装学会論文賞（対象論文5）

- 該当論文無し

#### (4) 日本包装学会功労賞

- 杉山 久仁子、田中 幹雄、山内 龍男、金子 武弘、東山 哲

### 3-8. 財務委員会

- 2022年度決算及び2023年度予算の作成
- 毎月の財務状況の確認

### 3-9. 総務委員会

総会、理事会、会長補佐会議の事務局として学会活動を運営した（詳細 学会運営の経過参照）。

以上のとおり、報告致します。

斎藤 勝彦	（会長）
久保田 清	（副会長）
宮田 剣	（副会長）
志水 基修	（編集委員長）
北澤 裕明	（企画委員長）
川口 和晃	（研究委員長）
佐藤 正史	（大会運営委員長）
津田 和城	（国際交流委員長）
石川 豊	（学会賞等選考委員長）
東山 哲	（財務委員長）
高山 崇	（広報委員長）
牧 伸行	（総務委員長）
坂巻 千尋	（監事）
金子 武弘	（監事）